

請願：原発国民投票の実現について
「国民投票は時期尚早」等の意見があり、賛成少数で不採択

この請願の内容は 3月議会で継続審査となりました。「原発国民投票の実現を求める意見書を国会・政府に提出していただきたい」という要旨で、請願者のほか1135人の署名とともに議会に提出されました。

本会議の審議では 本会議では賛成少数で不採択となりました。
 ※請願に賛成する討論が3件、反対討論はありませんでした。

国民の命より企業の利益が大事なのか！

付託委員会の審査結果 付託された総務経済常任委員会では、「原発について国民投票を認めた場合、ほかの事業でも国民投票を行うことになる」「電力不足は経済はもとより、社会生活にも大きな影響を及ぼす。国民投票は時期尚早だ」等の意見があり、慎重審査の結果、賛成者少数をもって不採択と議決されました。

田母神節子議員 野田首相は、福島原発事故の原因も解明されない中で大飯原発の再稼働を決めたが、いまだ自分の故郷で生活できない人もいる。直接国民の声を聞いて、原発エネルギーに頼るのか等、今こそ国民投票で問うべき。

国民にとってベストな選択は

岡本安明議員 電力不足や料金値上げなどの問題と原発再稼働とは同レベルの問題ではない。本当の国民生活を守ることが、原発の「再稼働」なのか。「再稼働させない」ことなのかを、国民一人一人が判断し、意志決定をすべきである。

賛成です
 討論
 小さな町の議論が大きな意味を持つ

神田 崇議員 小さなひとつの地方自治体の議会の場で議論がなされていることは、他の自治体からも大きな注目を浴びており、大きな意味を成すもの信じている。当町が一石を投じる意味は、必ず町のイメージを上げると考える。

視察報告 4/17 神奈川県川崎市
 第5次三ヶ山地域開発調査特別委員会

川崎市は、公共施設への太陽光発電設備の設置や住宅用太陽光発電設備の設置補助など、低炭素社会の実現に向けて、先導的に取り組んでいます。市有地約30ヘクタールには太陽光パネルが敷き詰められ、一般家庭の約5900軒分に相当する約2100万キロワット時の年間使用電力量の発電が見込まれています。また、浮島太陽光発電所の隣には、PR施設「かわさきエコ暮らし未来館」が併設され、エコ学習ができる展示や展望スペースなどが整備されています。

当委員会では引き続き調査研究することを決定しました。



「自然エネルギー推進の町宣言」に関する決議(要旨)

町が、恵まれた自然と歴史を大切に、自然エネルギーを積極的に活用した「自然エネルギー先進都市寄居」の実現を目指すために、今後の町の基本的姿勢を示すべき「自然エネルギー推進の町宣言」を行い、町としての強い決意を町民の皆様を示すとともに、全国に向けて発信されるよう次の事項を付して強く求めることを決議しました。

……………記……………

1. 太陽光発電システムを中心としたエネルギーの地産地消実現に向けての取り組み
2. 住民へ利益還元ができる遊休地等を利用した自然エネルギー推進事業への取り組み
3. 埼玉県の太陽光システム価格低減事業の指定自治体へ申請
4. 住宅用太陽光発電システム設置費補助金制度の補助対象等の拡大及び相談窓口を開設
5. 温水器の普及促進及び風力・水力等を利用した省エネ・創エネの調査研究
6. 山林(間伐材等)を活用した省エネ・創エネの調査研究
7. その他、自然エネルギー活用事業の取り組み

6月定例会の審議結果と議員の賛否内訳

上程された議案と結果 (全賛…全賛賛成 賛多…賛成多数 賛少…賛成少数)	掲議 職会 べだ よ じり	神 田 崇	大 久 保 幸 夫	峯 岸 克 明	真 下 昇	鈴 木 詠 子	津 久 井 康 雄	瀧 澤 忍	岡 本 安 明	大 平 久 幸	原 口 昇	佐 藤 理 美	坂 本 建 治	稲 山 良 文	大 久 保 博 幸	原 口 孝	田 母 神 節 子
平成24年度補正予算 ・一般会計	可決(全賛)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の一部改正 ・寄居町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例	可決(全賛)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他の議案																	
・専決処分の承認(寄居町税条例)	承認(全賛)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・専決処分の承認(寄居町都市計画税条例)	承認(全賛)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・専決処分の承認(寄居町国民健康保険税条例)	承認(全賛)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・専決処分の承認(寄居町一般会計補正予算)	承認(全賛)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・大里広域市町村圏組合規約の変更	可決(全賛)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・損害賠償の額を定めることについて	可決(全賛)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・工事請負契約の締結	可決(賛多)	P. 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・町道路線の廃止	可決(全賛)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・町道路線の認定	可決(全賛)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・「自然エネルギー推進の町宣言」に関する決議	可決(全賛)	P. 7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事																	
・寄居町固定資産評価審査委員会委員の選任	同意(全賛)	P. 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
・人権擁護委員の推薦	同意(全賛)	P. 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願																	
・原発国民投票の実現について	否決(賛少)	P. 6	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○
・公的年金切り下げ等に反対し、拡充する意見書提出を求める請願	可決(賛多)	P. 6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書																	
・公的年金切り下げ等に反対し、拡充を求める意見書の提出	可決(賛多)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 ※…議長 議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

請願：公的年金切り下げ等に反対し、拡充する意見書提出を求める請願
「年金を下げない」との要旨は理解できる」等の意見があり、賛成多数で採択

この請願の内容は 「年金生活者の生活を守るために公的年金等の切り下げ等に反対し、拡充する意見書を国会及び政府に提出することを採択していただきたい」というもので、請願者のほか131名の署名とともに議会に提出されました。

付託委員会の審査結果 付託された文教厚生常任委員会では、「デフレの経済状況から見れば当然の措置であり、年金制度を維持するための措置と理解すべき」「財源の確保が何よりも重要。意見書提出は財源など国の動きを見てからでもよい」「年金の減額について、政府に対する歯止めの意味もある」「年金額を下げないという請願要旨は理解できる。議会として独自の意見を提出してもよいと考える」等のさまざまな質疑・意見があり、賛成多数で採択されました。

安定した「財源の確保」が重要
 佐藤理美議員 無年金・低年金者に対する緊急の救済措置を講じるためにも安定した財源の確保が重要。超高齢化社会の進展に伴い、年金、医療等の社会保障費の増大は避けられない。まずは景気対策を講じ「財源の確保」を行うべきである。

賛成です
 討論
 若者が希望の持てる年金制度の充実を

田母神節子議員 20歳〜60歳までかけた年金が、65歳にならないと満額受け取れない。それでも44%の人が60歳から受け取っている。介護保険料等を差し引かれ、手元にわずかしか残らない。「命綱をこれ以上切り下げない」との声にこたえたい。

この請願の採択を受けて、
 国に意見書を提出しました。

本会議の審議では 本会議では、種々質疑が行われました。慎重審議採決の結果、賛成多数で採択されました。